



主権者教育 - 政治離れを防ぐための第一歩

市町村議会議員特別セミナー

越智 大貴（オチセン）



社会教育実践家 / シティズンシップ教育クリエイター / ENFP

好きな音楽

Creepy Nuts・ミセス
FRUITS ZIPPER・櫻坂

好きな場所

スタバ
(24都道府県制覇)



最近のマイブーム

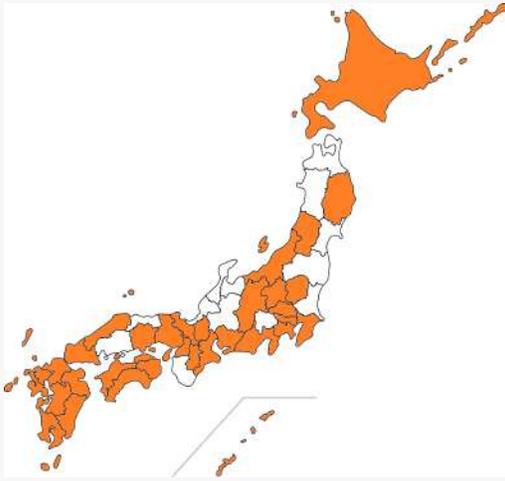
動画配信サービス・ポイ活
顔の肌ケア

肩書き

- ・ 一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表
- ・ 総務省主権者教育アドバイザー
- ・ 愛光学園非常勤講師
- ・ 愛媛県人権問題研修講師
- ・ 松山市明るい選挙推進協議会委員 など

越智 大貴（オチセン）

社会教育実践家 / シティズンシップ教育クリエイター / ENFP



仕事で全国制覇が目標

- ① 院生時に **よのなか科** の活動をスタート
👉 **シティズンシップ** 教育を軸に置く
- ② 教員をしながら **非営利活動** 法人を設立
18歳選挙を機に **主権者教育** を全国展開
- ③ **こどもの意見** も尊重され、**社会参画** を
後押しする環境づくりに取り組む

今日のテーマ：主権者教育について

① 主権者教育とは何か？

データから読み取る若者の現状と課題について

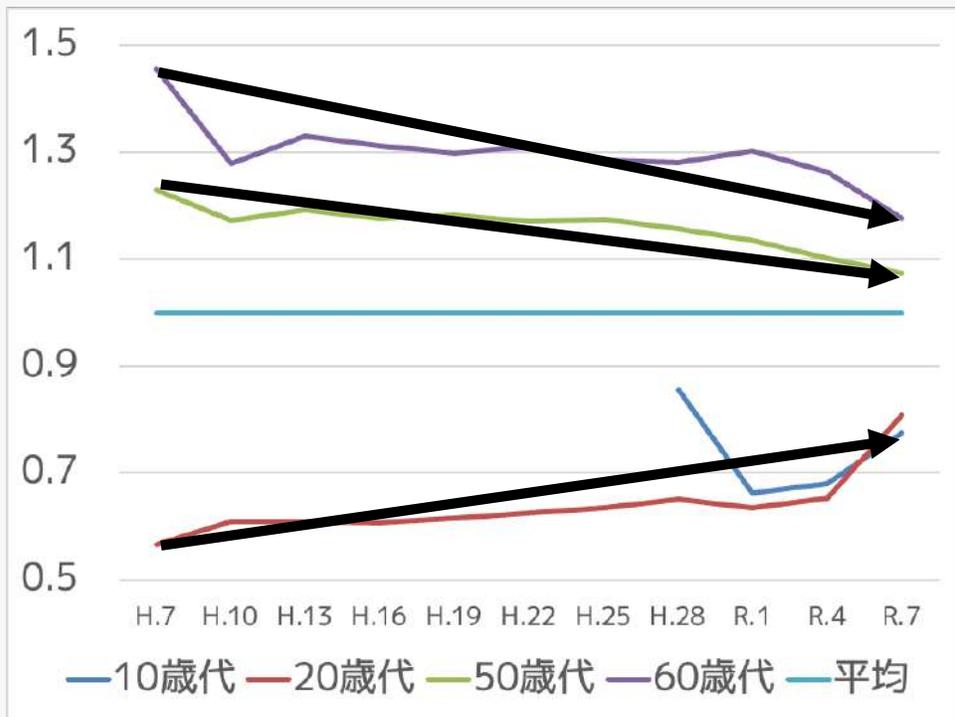
② 主権者教育の実践例と工夫

WONDER EDUCATIONの実践紹介

③ まとめ

ぜひみなさんで一緒に考えましょう！

主権者教育とは投票啓発？



参議院議員選挙の
投票率の平均に対する
各世代の推移



若い世代は全体比では上昇

- これからの課題は
高齢者の投票率低下？
- 低投票率は全体の問題へ

主権者教育とは投票啓発？



子どもを取り巻く環境の変化

2015年：全国で主権者教育が始まった！

- 2016年：選挙権年齢が18歳以上に！

政治参加 選挙に行こう！

- 2022年：成人年齢が18歳以上に！
- 2023年：子ども基本法が成立

子どもの権利

子どもの社会参加

近い将来：被選挙権年齢が18歳以上に？

教育

知識・スキル・価値観まで含め
“**長期的**に育てる・プロセス”

啓発

気づきや注意を
“**その場**で促す・きっかけ”

若者の投票率が低いという現状があるから

選挙に行こう！

と促し、関心を高める。

教育

知識・スキル・価値観まで含め
“**長期的**に育てる・プロセス”

啓発

気づきや注意を
“**その場**で促す・きっかけ”

若者の投票率が低いという現状があるから

選挙に行こう？

と**問い**、関心を高める。



戦後のドイツでは、
こどもの政治教育が
“当たり前”のように
行われている。

シティズンシップ とは

- **よのなか** の **ルール** を守ったり
社会生活 を行う上での心がまえのこと
- 周りへの思いやりや正しい行いのこと

“思いやり”や“正しい行い”って何ですか？

シティズンシップとは

- **よのなか** の **ルール** を守ったり **社会生活** を行う上での心がまえのこと
- 周りへの思いやりや正しい行いのこと

政治

答え（正解）はない → 自分なりの答え（納得解）を創る

シティズンシップとは

社会 とは、人々が互いに関わり合う場のこと

政治 とは、**社会** の課題を話し合い、解決方法を決めること

選挙 とは、**政治** の代表者や方針を多数決で決めること

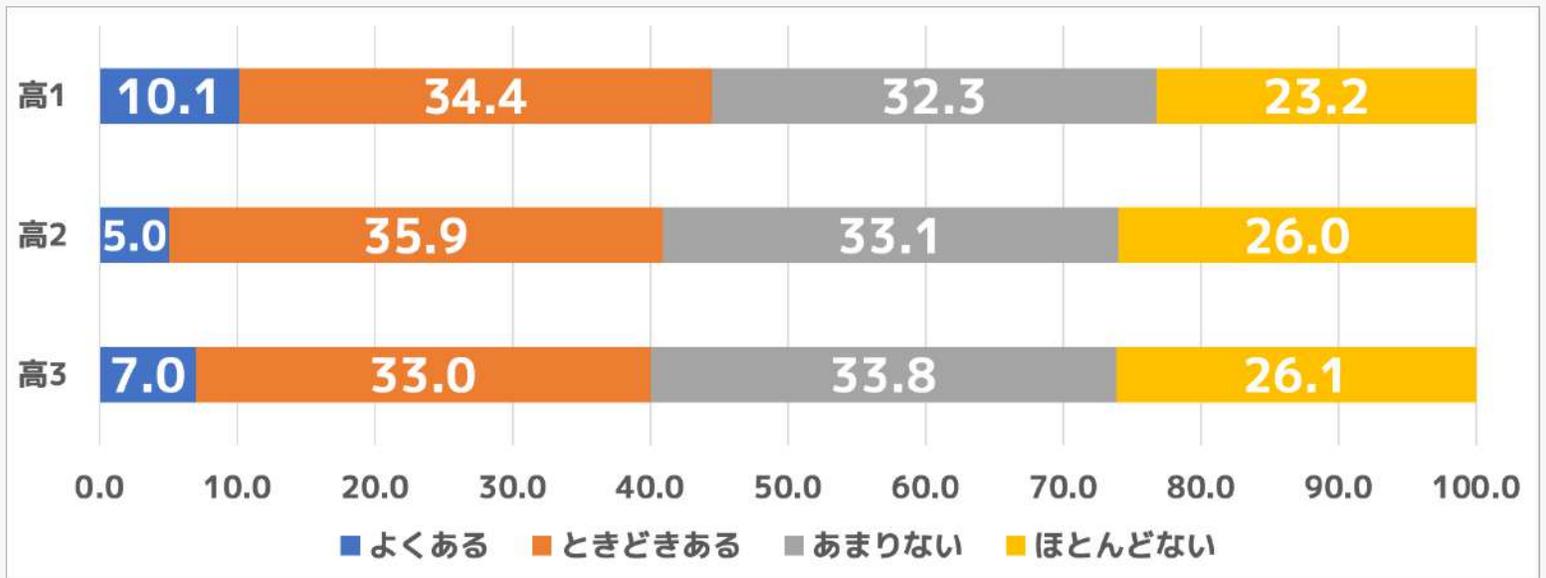
政治に関心を持つカギは「**コミュニケーション**」

国 地域
学校 家族

ポイント

自分の仕事について - シティズンシップの再定義

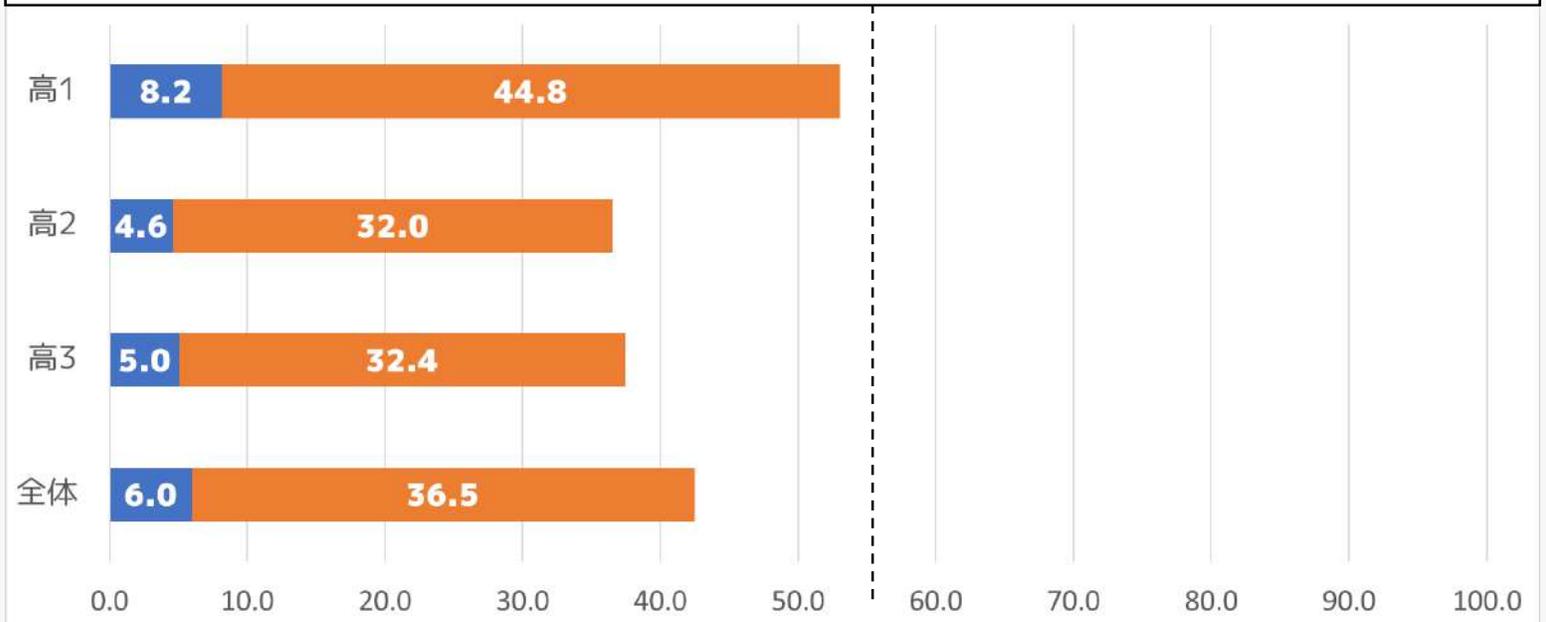
家族や友人などと政治や社会問題の話をしますか？



「国や社会に対する意識調査@愛媛」 (2024・WONDER EDUCATION調べ)

データの背景 - 高校生の意識と現状

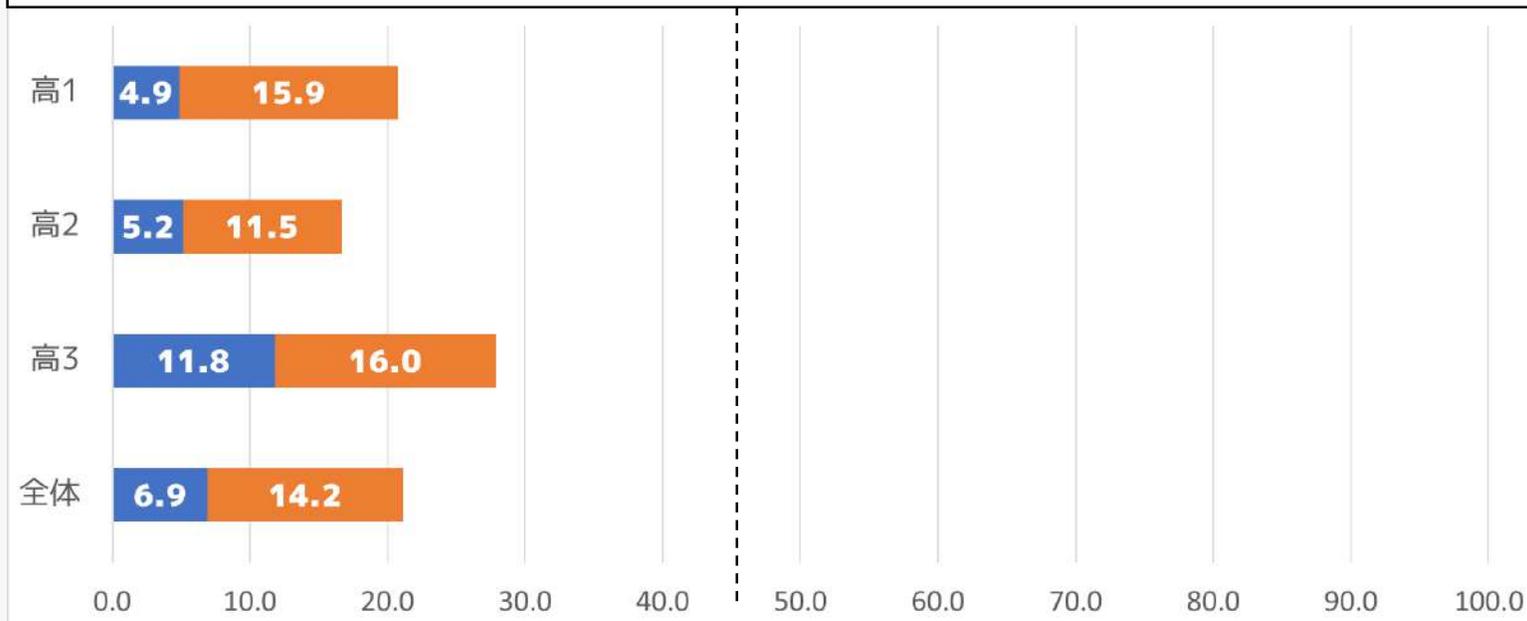
今の自国の政治に関心がある。



「国や社会に対する意識調査@愛媛」 (2023・WONDER EDUCATION調べ)

データの背景 - 高校生の意識と現状

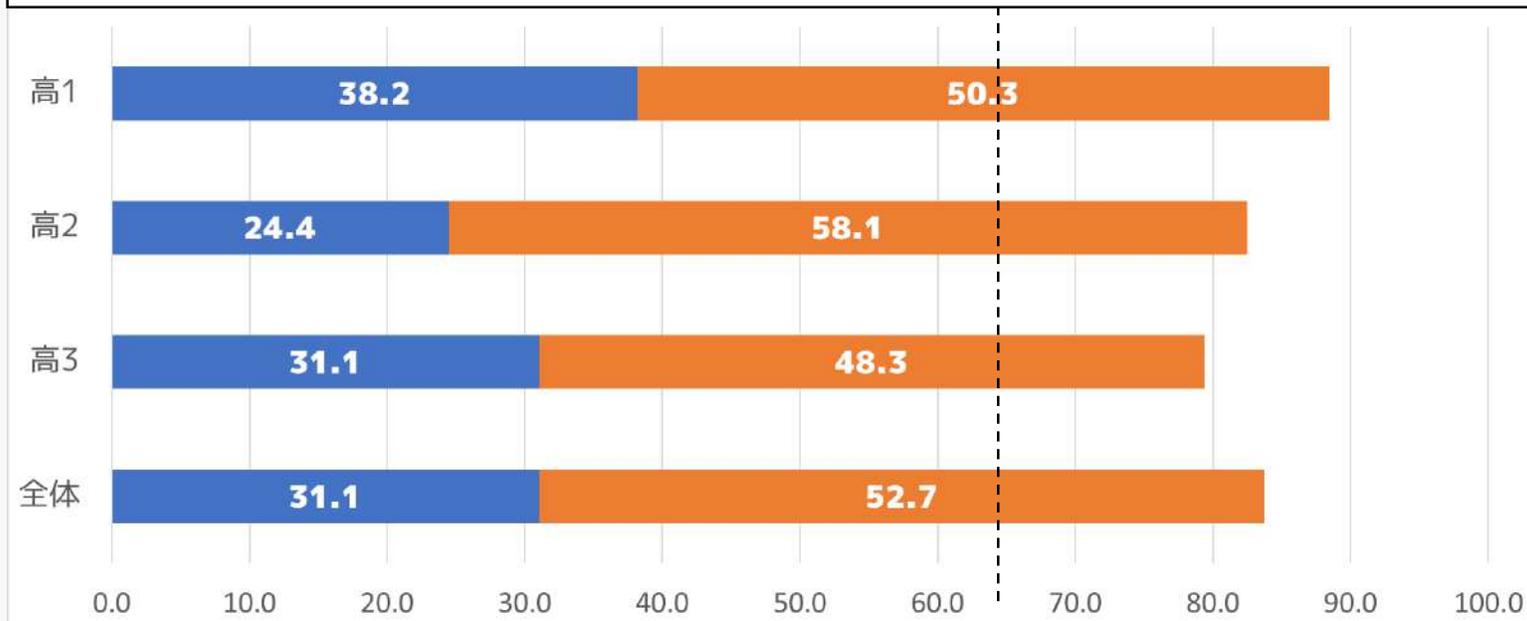
自分の力で国や社会を変えられると思う。



「国や社会に対する意識調査@愛媛」(2023・WONDER EDUCATION調べ)

データの背景 - 高校生の意識と現状

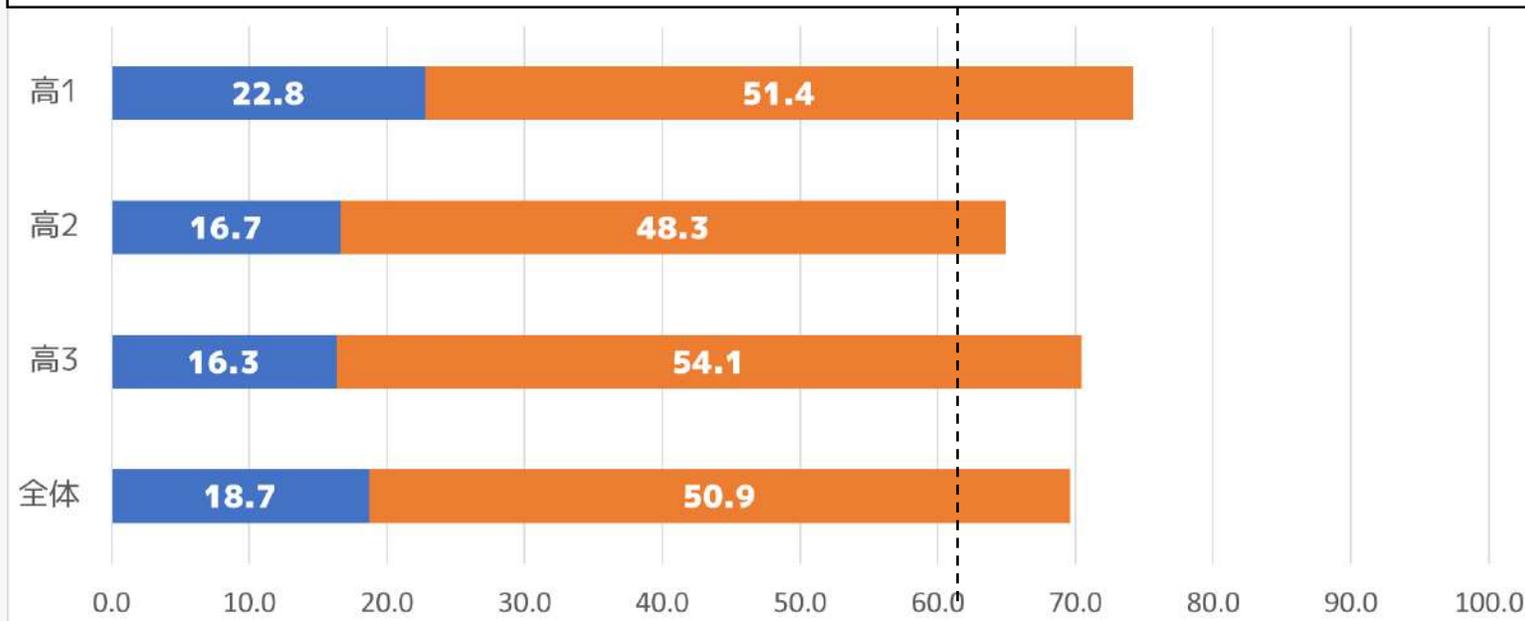
社会のために役立ちたいと思う。



「国や社会に対する意識調査@愛媛」(2023・WONDER EDUCATION調べ)

データの背景 - 高校生の意識と現状

自分は責任ある社会の一員だと思う。



「国や社会に対する意識調査@愛媛」(2023・WONDER EDUCATION調べ)

データの背景 - 高校生の意識と現状

ポジティブなイメージ

- “理想の政治家・政治”へのイメージが明確
- 興味がある / どちらかといえば興味があるという割合が高い

意外と政治を見ている。

ネガティブなイメージ

- 政治のイメージが「堅苦しい」「汚職」「遠い世界」のもの
- 「自分が関わっても変わらない / 意味ない」という感覚

政治に関わる意味を感じない。

障害になっているものは何か？ - 主権者教育の課題とは？

なぜ「政治」や「選挙」は教育で扱いづらいのか？

- ・ 民主政治、政党、憲法、地方自治等、民主政治上の各種制度についての知識
- ・ 現実の政治の理解力及びこれに対する公正な批判力
- ・ 民主国家の公民として必要な政治道徳、政治的信念

第8条（政治教育）

- 良識ある公民たるに必要な**政治的教養**は、教育上これを尊重しなければならない。
- 法律に定める学校は、**特定の政党を支持し、又はこれに反対する**ための政治教育、その他**政治的活動**をしてはならない。

なぜ「政治」や「選挙」は教育で扱いづらいのか？



模擬投票

- ・ 選挙管理委員会などが主宰
- ・ 生徒会長選挙の活用



ルールなどを、
専門家から聞ける。

授業内での実施

- ・ 対話的な授業の実施
- ・ 公共や総合的な探究の活用



こども達が社会に
参加する機会がある。



主権者教育を活性化させる実践的手法

学校の 本音

『政治に関する知識がないため、
どのように教えたらいいか不安がある。』
『校務もあり、授業の準備の時間は限界ある。』

行政の 本音

『あいまいなことについては触れずに、
トラブルを回避したい。』

主権者教育のカギは、“4ティ兄弟”

- リアリティ・コネクティビティ（外部連携、実社会とつながる）
- クオリティ・クオンティティ（質も量も）

主権者教育を活性化させる実践的手法

- ① リアリティ（実社会とつながる）
→ いかに関「本物」の内容を扱えるかどうか
- ② コネクティビティ（外部連携）
→ 専門的な関わり方ができるかどうか
- ③ クオリティ（質）
→ 生徒達が主体的に参加できる形になっているか
- ④ クオンティティ（量も）
→ 量をこなせるかどうか

外部が入る
意味

主権者教育を活性化させる実践的手法

① 先生（大人）と生徒（子ども）が学び合う

答えのない問いを出し、みんなで学び合い、納得解を導くための「編集力」を身につける。

② 本物のゲストと「ナナメの関係」

学びの場の中立性をコントロールする「ファシリテーター」と専門的なことをサポートする「ゲスト」

③ コミュニケーション重視で、主体的な学びを実現

ロールプレイングやシミュレーションを交えながら、話し合い活動を中心に実施

主権者教育を活性化させる実践的手法

先生・大人に“教わる”
政治知識=正解の取得



社会の仕組みやルールに関する事実は、そのまま教え込んでも大丈夫
教科書に載っているようなことや公職選挙法に関することについては
きちんと教えることは必要だと思う。

→ 社会の現状を「知る」ことは大事。

みんなで“学びあい”
政治感覚=納得解の習得



社会の仕組みやルールに関する事実を「批判的に」見る学び
思想信条の自由からも、「教え込まないこと」がポイント。

- 「なるほど！」「いいね！」という共感
- 「どうしてそう思うの？」という問いかけ

自由に意見を言える
雰囲気的大事

みんなで“学びあい”
政治感覚=納得解の習得



ポイントは「若者世代」の感性

- 「なるほど！」「いいね！」という共感
- 「どうしてそう思うの？」という問いかけ

自由に意見を言える
雰囲気的大事

よのなかに「答え」はない！
だからこそ大事にしてほしい「LOVEルール」

- L** : Listen = いろいろな人の話をよく聞く。
O : Open mind = いろいろな考えを認めあう。
V : Voice = 遠慮せず質問し、考えを伝える。
E : Enjoy = 学び合うことを楽しむ。

©wonder-education.org / ©ochisen.net

WONDER EDUCATIONの実践例

よのなかの仕組みを、
みんなでおもしろく学び合う、みんなで作る。

こども・若者主体のよのなかづくりを目指して
シティズンシップ教育・主権者教育を、#いつでも #どこでも #誰でも

場
づくり

仲間
づくり

©wonder-education.org / ©ochisen.net



こどものまちイベント



小学生での授業



他団体とのコラボ



中学校・高校での授業



中高生・大学生中心の活動



県外の学生との協働・交流



大学生・社会人との活動

WONDER EDUCATIONの実践例

講座

×

学校



「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 内容：選挙に関すること

選挙は押し活

模擬投票体験

政治に関すること

首長シミュレーション

性格診断

権利や社会参加に関すること

校則

社会×ライフデザイン



©wonder-education.org / ©ochisen.net

「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 対象：小学生・中学生（公民未履修者）

謎解きワーク・クイズが中心

中学生・高校生（公民履修者）

政治や権利に関する内容が中心

高校生・大学生（有権者）

選挙に関する内容が中心



©wonder-education.org / ©ochisen.net

「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 方法：一斉授業の形式（学年別・全校）

越智がファシリ、学生がサポート

クラス別での形式

大学生・社会人が各教室で実施

探究学習・有志を対象とした形式

行政とタイアップ・少人数で充実



©wonder-education.org / ©ochisen.net

「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 方法：クラス別での形式

大学生・社会人が各教室で実施

松山商業高等学校（11/6）

1. 市長シミュレーションゲーム
2. 一人暮らしのシミュレーション
3. 未来都市を考える
4. 契約から考える自由と責任
5. 少年犯罪とこどもの権利
6. 生命倫理 - 臓器移植について

授業で
取り扱いづらい



©wonder-education.org / ©ochisen.net

「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 方法：クラス別での形式

大学生・社会人が各教室で実施

- 年が近いから、親しみがある。
- 自然に生徒が話してる。
普段の授業ではない場面。
- 教員ではどうしても限界あり。



「よのなか」を考える講座

話し合い活動を中心に、全国各地で実施

- 内容：議員の皆さんを招いた授業

模擬議会体験

議員のキャリア

- まちの課題を考える
- 身近な社会問題について
議員と議論をする
- 議員の仕事の理解を深める



政治や選挙の講座

自治体や団体からの委託として実施

- 内容：自分達なりの主権者教育を考える機会を提供する。
- 方法：ワークショップ形式
地元の学生が主体となった取組
→ 学生主体の活動のきっかけ





©wonder-education.org / ©ochisen.net

こどもの意見聴取の講座

自治体の「こども計画」策定のサポート

- 内容：自分のライフプランから、
未来のよのなかについて考える。
- ① こどもの権利ってなに？
- ② 理想の居心地を考えて、
行政へのお願いを作ろう！
- ③ 自分たちの意見を発信しよう



©wonder-education.org / ©ochisen.net

未成年者のリアル投票体験

理想の投票所や投票方法を学生が考える

- 内容：実際の選挙に合わせ、
こども達が大人と同じ選挙を体験
- 学校やイベントを通じた
ワークショップの実施
- 商業施設やイベント会場での
選挙期間中の模擬投票の実施



©wonder-education.org / ©ochisen.net

こどもの街でよのなかを体験

自治体の「こども計画」策定のサポート

- 内容：社会形成に参画する態度を育む教育を取り入れたプログラム
- こどもの権利が尊重された社会
その実現のため学生が考え、
自らも社会に参画するきっかけを創るプロジェクト。

まとめ - 民主主義における教育の意義

主権者教育は、社会の出来事を

主体的に
行動する

自ら考え、
判断し、

自分事として
捉え、

教育だ！

まとめ - 民主主義における教育の意義

- ⑧ こども主導の活動に大人も巻き込む
- ⑦ こども主導の活動
- ⑥ 大人主導で意思決定にこどもも参画
- ⑤ 大人主導でこどもの意見提供ある参画
- ④ 与えられた役割の内容を認識した上での参画
- ① 操り参画 → ② お飾り参画 → ③ 形式的参画

こども・若者
主導で参画

大人
主導で参画

非参画

「こどもの意見を尊重する」その意識の変化で主権者教育は変わる！

まとめ - 民主主義における教育の意義

場
づくり

仲間
づくり

学びづくり

- ・ 講座
- ・ こども選挙
- ・ We City

シティズンシップ
(市民・主権者意識)

協働・連携

- ・ 学校と
- ・ 行政と
- ・ 企業・団体と

の涵養

自分
づくり

市民として

主権者として

主権者教育は、

放任すれど、放置せず

こどもは、大人が思っている以上に勝手に学ぶ。

大人の役割は、それを任せてあげること。

私たちの社会における政治や選挙の意義

「社会はみんなのもの」を再確認する機会

話し合いや選挙があるから、政治家は市民を意識する必要があり、権力の暴走を防ぐことができる。

ポイント

「社会で生きていること」を再確認する機会

話し合いや選挙は「こんな社会がイイ」という自己表現の機会
そして、社会に受け入れられ、社会を受け入れるきっかけ。

最後に…

社会への参画意識が低い

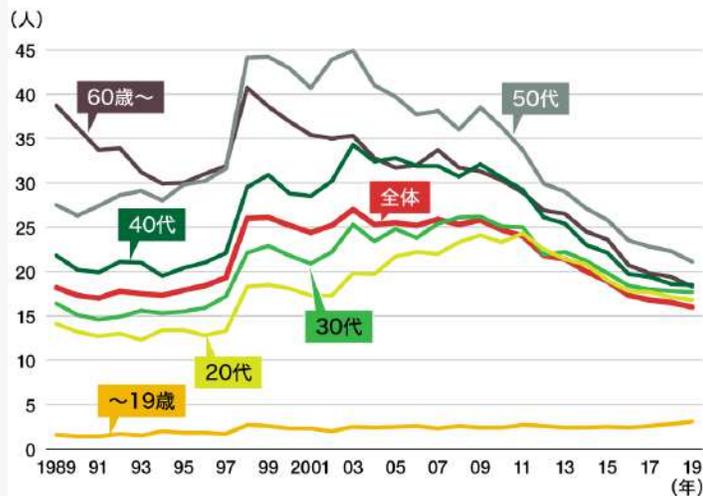
- 「どうせ何を言っても変わらん」
- 「自分がいてもいなくても一緒」



自己有用感の低下

(例) 若者の自殺者数は増えている。
15～34歳の若い世代で死因の第1位が
自殺はG7で日本のみ

自殺率の推移(人口10万人当たりの人数)



出所: 厚生労働省「自殺対策白書」

nippon.com

最後に…

社会への参画意識が低い

- 「どうせ何を言っても変わらん」
- 「自分がいてもいなくても一緒」



こどもの声を聞く 社会

社会参画と自己表現を通して、
社会で**生きる意味**を知る。

👉社会を「学ぶきっかけ」へ

そこで！

この流れをつくる環境をつくりたい！

最後に…



主権者教育をぜひ一緒に！

越智や学生がお伺いし、**講座や講演、事業のサポート**をします！

総務省の主権者教育アドバイザーの制度や

明るい選挙推進協会の開催支援事業をぜひご活用ください！

- 小中高大学への出張講座
- 今回のような研修会
- 学生主体の探究学習や団体の協力
- 主権者教育に関する計画の策定や実施 など

要は何でも

お手伝いさせていただきます！

連絡先：contact@wonder-education.org / 090-3461-8434（越智）

©wonder-education.org / ©ochisen.net



THANK
YOU!



興味があったら、
いつでも連絡ください！

<https://wonder-education.org/>
@weyarou

©wonder-education.org / ©ochisen.net